新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について

さまざまな感染症の拡大が心配される冬季を迎え、新型コロナウイルスの感染が拡大しています。
町民の皆さんには、感染防止のため、次の対策の徹底をお願いします。

1. 高感染リスクの行動を回避

○「大人数の酒類を伴う飲食」など高感染リスクの場の回避。
○特に「マスク非着用」「大声を出し飛沫が飛び交う」行動は要注意。

2. 体調不良時は必ず行動ストップ！

○「体調がおかしい」と自覚したら、会食をはじめ、外出、出勤、登校をストップ。
○ただちに医療機関へ相談・受診。

3. 「マスク着用」「手洗い徹底」「人との距離確保」

○感染症はみんなで守る危機管理。引き続き、基本的な感染防止対策を徹底。
○職場・家庭に対策の担当「コロナガード（仮称）」を選任・設置し、感染防止対策を緩みなく推進。

4. ストップ「コロナ・ハラスメント」宣言の徹底

○コロナ・ハラスメントを許さない環境づくりを。
○また、実際にハラスメントを受けたり、見聞きした場合には、すぐに相談窓口に相談。

感染リスクが高まる「５つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会など

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば５人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面③ マスクなしでの会話

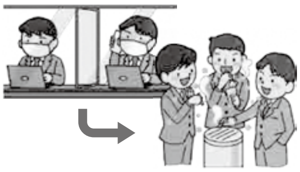
- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



《発熱など（発熱、せき、だるさなど）の症状がある場合の相談・受診方法》
・外出を避け、まずは、かかりつけ医などの身近な医療機関に電話相談してください。
・かかりつけ医を持たない場合や相談先に迷う場合などは、次の保健所に設置されている「受診・相談センター」または「電話相談体制整備医療機関」に相談してください。
・相談先の案内（自院への受診案内、他の医療機関を紹介など）に従って受診してください。
　※検査は、医師が必要と判断した場合に行われます。

○受診・相談センター

設置場所	電話	ＦＡＸ	対応時間
西濃保健所	0584-73-1111（内線 273）	0584-74-9334	【平日】9:00 ～ 17:00

○電話相談体制整備医療機関（※）

設置場所	電話	ＦＡＸ	対応時間
大垣市民病院	0584-77-0783	－	【平日】17:00 ～翌日 9:00【土日祝日】24 時間

（※）受診・相談センターの代理的機能として、土日祝日や夜間に地域の発熱患者などからの電話相談を受け、受診可能な医療機関を案内します。